

助成活動実績報告書

企画名	自然から学ぶ
団体名	河辺・高野（親子）自然教室

①活動の目的について

自然の仕組みを知ることにより、人間がどのような生き方をしたら良いかを考えられるようになる。

②内容について

4/9 開設式・食べられる植物(25人)、4/23(22人)、4/30(24人)、5/7 動植物観察・大豆植え(22人)、5/14 ラッカセイ・ワタ植え (28人)、5/21 レーウエンフック顕微鏡作り・それによる観察(23人)、6/4 ジャガイモ澱粉・ユキノシタ表皮観察 (18人)、6/12 ホタル観察 (22人)、6/19 野鳥鳴き声当て・捕虫網の使い方 (20人)、7/2 ホタル卵・秋の七草観察 (27人)、7/16 枝豆収穫・根粒観察・昆虫採集 (23人)、7/23 川遊び (23人)、8/6 川遊び・川掃除・鱗観察 (18人) 8/20 川遊び・川掃除・背地交果観察 (11人)、8/27 川遊び (16人)、9/3 蝶と蛾のちがいを・ホイッスル作り (9人)、9/10 昆虫採集・標本作り (21人)、10/1 カエル釣り(13人)、10/15 つるし柿作り、粃すり・火作り(20人)、サツマイモ堀り (27人)、11/5 ジョウビダキ観察・ろうそく、ホイッスル作り (13人)、11/12 ラッカセイ堀り (13人)、11/20 オギ刈り・ヒラタケ原木取り(11人)、12/3 ヤマノイモ堀り・ヤマノイモ植え(24人)、12/17 野鳥観察 (18人)、12/24 ヒラタケ植え・焼き芋(20人)、1/7 春の七草採集・七草雑炊(24人)、1/21 花瓶敷き作り・野鳥スケッチ(23人)、2/4 野鳥観察・スズメバチの巣観察 (18人)、2/18 野鳥観察(12人)、3/3 野鳥・アカガエル卵塊・カスミサンショウウオ卵塊観察 (3/17 まとめ・草餅作り

③この活動によって達成された成果

1. 自然への関心と観察力・考察力の向上

- ・ 今まで気付かなかった野鳥や小さな虫、小さな魚にも気付くようになった。
- ・ 小さな変化にも気付いて質問が出来るようになった。
- ・ 人も動物の一種で、自然を構成する一員であると考えられるようになった。

2. 人の生活と生態系の変化について考えられる者が出てきた。

・ 耕作放棄地の変化からの考え

平成 17 年の 23 号台風で、耕作放棄湿田の畦の樹木が倒れて出来た大きな水溜りに、アカガエルやカスミサンショウウオが産卵していたものが、水溜りが埋まるにつれてアカガエルが産卵しなくなり、カスミサンショウウオも産卵場所が限られてきたことから、これからの生物は耕作という人の生活と大きく関係している事に気付く子どもが出てきた。

・ 不法投棄物からの考え

観察ルートにある不法投棄物の多い場所を見て、捨てた人の道徳観を批判するだけだったのが、その結果が野生生物にも影響があるのでと考えられる者も出てきた。

3. 親子で参加することでの効果

- ・ 毎回数人の親会員が参加するが、親の自然に対する考え方がしっかりしてきて、子どもを上手くリード出来るようになった。

4. 自分の行動の責任について考えられるようになった。

・ 野鳥の追い払い行動がなくなる。

野鳥に無関心で先へ先へと歩いてた子どもが無くなり、足音をさせずにゆっくりと指導員の後を歩けるようになった。

・ 後片付けが完全に出来るようになった。

毎回の終了後、指導員の持ってきた荷物の全てを、子どもたちが完全に片付けてくれる。

④今後の計画・展望について

- ・ 現在やっていることを継続していきたい。
- ・ 人の生活と生態系の変化が考えられるようにリードしていきたい。